

『闘将ダイモス』（とうしょうダイモス）は、1978年4月1日から1979年1月27日まで、テレビ朝日系列で毎週土曜18:00 - 18:30（JST）に全44話が放送された、東映制作のロボットアニメ。

#### 【概要】

長浜忠夫監督による「長浜ロマンロボット3部作」の第3作に数えられており、前作までと同様に東映が企画し、制作を日本サンライズに委託するという制作体制が踏襲されている。「友情」をテーマにした『超電磁ロボ コン・バトラーV』、「父子の愛」をテーマにした『超電磁マシン ボルテスV』に続き、本作品では「男女の愛」がテーマとして掲げられた。『ロミオとジュリエット』のオマージュとしてロボットアニメに異星人同士の恋愛要素を持ち込んだ。地球を攻撃する異星人側も、一方的に侵略戦争を仕掛けるのではなく、平和裡の移住を求めた交渉の場で起きた惨事から戦争に発展し、戦時下でも民主化や地球との平和を求めるレジスタンス運動が存在することが描かれるなど、よりドラマ性を重視した作劇が志向されている。また本作品では実写畑からきた鈴木武幸プロデューサーの発案で、アニメでありながら殺陣師として高橋一俊を起用。本作品のアクションシーンは高橋の動きを撮影したものをトレースして描かれており、鈴木によると「実写のアクションによる面白さを加味できた」としている。本作品の放送当時、テレビアニメは16mmフィルムで撮影したものが主流だったが、本作品では珍しくそれよりも格上の35mmフィルムで撮影されている。これは16mmの撮影台が他の作品と重なり使えず、35mmの撮影台しか空いていなかったことに起因するものである。先方の都合ということもあり、16mmと同じ料金でクオリティの高い35mmを使えたため、制作者としては願ったり叶ったりだったという。長らく映像商品化されず、レンタルビデオも存在しなかった。スカパーフェクトTV!での放送以外では視聴困難な作品であったが、2007年にDVD-BOXが発売された。

#### 【あらすじ】

母星を失って巨大宇宙船で太陽系に現れたバーム星人が安住の地を求めて呼びかけた地球人との会見は、バーム星代表のリオン大元帥が何者かに毒殺されるという暗殺事件によって決裂した。後任のオルバンはこれを地球側の陰謀であるとして人類に報復宣戦し、1999年、リオンの遺児リヒテル提督に率いさせた戦闘ロボ軍団で攻撃を開始する。そこへ巨大変形ロボ「ダイモス」を駆ってバームのメカ戦士と戦う竜崎一矢は、戦いの中で記憶喪失の少女エリカと出会う。いつしか2人は恋に落ちるが、実はエリカはバーム星人であり、リヒテルの妹であった。

#### 【最終回】

本作品は打ち切りによる話数削減を余儀なくされたとされており、最終回はオルバン大元帥が倒され、小バームの木星落下を止めたところで終わっている。ラストに至るまでのストーリー展開は非常にあわただしく、各キャラクターの最期もあっさりとした描写となっている（一例として、ライザは小バームで銃弾に倒れるが、放送が続いていれば別の結末があったとも言われる）。監督の長浜忠夫が『ロマンロボアニメ・クライマックス・セレクション』（株式会社マジックボックス刊）に寄せた文章によれば、打ち切りが無ければさらにその続きを描く構想があったことを明かしており、最終回はバームと地球の友好が実現し、バーム星人の移住先を確保するために火星をテラフォーミングする開拓団が発出する構成とするつもりだった。ラストカットは概ね下記のようにする予定であったという。

『開拓団の団長・副団長は竜崎一矢・エリカ夫妻だった。その胸にはリヒテルの遺影も抱かれている。出発セレモニーがクライマックスを迎え両星の群衆が狂喜する中、1人の男がたどたどしく、「…ばーむちえいじんはコロセ!…ばーむちえいじんはミナゴロシダ!…」とつぶやく。ぼろぼろの衣服で一目で浮浪者とわかる男は、電池の切れ掛かった耳障りな音を出すおもちゃの銃を振り回しながら群集の中に消える。彼こそ元国連地球防衛軍太平洋本部司令長官、三輪防人その人だったが、気づく者は誰一人いなかった…。』

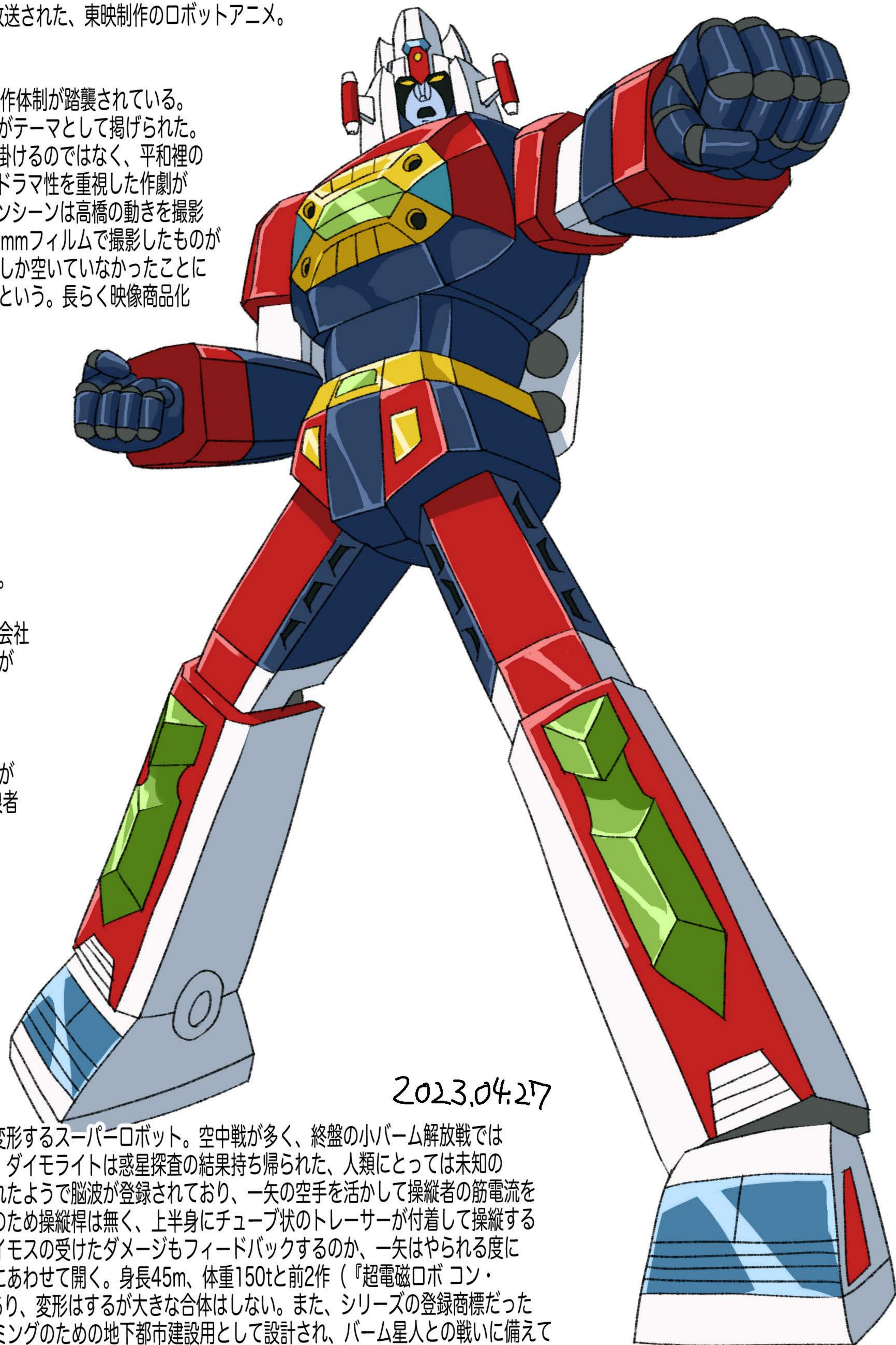
また後年、プロデューサーの鈴木武幸は自著『夢を追いつける男』の中で、本作品は玩具の売れ行きもよく視聴率も問題なかったが、後番組の『バトルフィーバーJ』を4月開始ではなく2月開始にしたいという局の要望があったことを明かしている。これについて鈴木は、その方が視聴率や玩具商戦的によいとテレビ朝日が考えたのではないかと推察している。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

# 闘将ダイモス 1978年

#### 【ダイモス】

竜崎博士と和泉博士が設計した、惑星開発用巨大トレーラー「トランザー」が変形するスーパーロボット。空中戦が多く、終盤の小バーム解放戦では宇宙空間でも戦闘を行った。動力源はダイモライト、装甲材質はダイモニウム。ダイモライトは惑星探査の結果持ち帰られた、人類にとっては未知の新エネルギー源である。操縦者は、博士の息子・竜崎一矢。一矢専用開発されたようで脳波が登録されており、一矢の空手を活かして操縦者の筋電流を増幅することで操縦者の動きをそのままトレースするように作られている。そのため操縦桿は無く、上半身にチューブ状のトレーサーが付着して操縦する仕組みになっている。下半身の制御は脳波コントロールシステムで動かす。ダイモスの受けたダメージもフィードバックするのか、一矢はやられる度に苦しんでいた。またダイモスは表情があるロボットでもあり、口が技名の連呼にあわせて開く。身長45m、体重150tと前2作（『超電磁ロボ コン・バトラーV』『超電磁マシン ボルテスV』）の超電磁ロボに比べて小ぶりであり、変形はするが大きな合体はしない。また、シリーズの登録商標だった「超電磁」を冠していないことも特徴の一つである。元々は他星のテラフォーミングのための地下都市建設用として設計され、バーム星人との戦いに備えて改造された。そのため固定武装は少なく、戦闘は操縦者の体術に負うところが多い。両脚になる部分は空洞の貨物室となっており、武装や資材を運ぶことが出来た。



2023.04.27

# 闘将ダイモス1978年

【竜崎 一矢 (りゅうざき かずや)】声 - 神谷明

本作品の主人公。竜崎勇博士の一人息子であり、ダイモスの操縦者でもある空手の達人。趣味はドラムス。父親の影響もあり、幼い頃から宇宙飛行士を目指していた。正義感あふれる青年で、父の遺したダイモスでバーム星人と戦う。戦闘中に会ったエリカと恋に落ち、エリカが父を殺したバーム星人の一人であることを後に知り苦悩する。バーム星の戦闘部隊と戦いながら、ハレックやマルガレーテなど理解しあえるバーム星人もいることに気づき、さらにハレックやリヒテルとの戦いを通じて、バームの軍人は戦う相手ではあっても「本当の敵」ではないとの認識も持つようになり、物語後半では戦闘以外の道を模索していた。最終回で木星へと落下する小バームを救おうとするが銃弾に倒れ、エリカ共々リヒテルに救われた。番組時間で4年前、14歳の時に宇宙飛行士訓練センターでの事故で全身麻痺となったが、苦しいリハビリテーションでそれを克服した壮絶な過去がある。設定年齢18歳。

【夕月 京四郎 (ゆうづき きょうしろう)】声 - 曾我部和行 (タイトルコールも兼任 (第7話以降) 曾我部和恭)、  
梁田清之 (スーパーロボット大戦シリーズ)

一矢の親友で剣術の達人。ダイモスを支援する戦闘爆撃機「ガルバーFXII」(IIはローマ数字の2)のパイロット。天然のアフロヘアーにサングラス、常にコート姿で日本刀を背負っているという特殊な出で立ちである。「\*\*日く――」と、事あるごとに先人の名言を引用する。幼い頃に両親を失い、祖父である夕月一刀斎 (声 - 千葉耕市) に育てられた。また、彼の恋人である玲子のフランス語の講師を担当していたこともあり、結婚を迫られるなど散々手を焼かされ、彼女を目にするると寒気が走っていた。パイロットとしての技量は高く、劇中でガルバーを撃墜されたことはなかった。一見はキザに見える。設定年齢18歳。小バーム制圧後の制御室への突入作戦で隠し銃の狙撃を受け、胸や腹に何発もの銃弾を浴びて昏倒し、そのまま負傷兵として医務室送りとなる。聖悠紀の元デザインではストレートの長髪だった。

【エリカ】声 - 上田みゆき

本作品のヒロイン。リオン大元帥の遺児でリヒテルの妹。聡明で芯の強い女性。共に金髪だったリヒテル、リオンと違い、黒髪のロングストレート。普段は肩を大きく出すギリシャ・ローマ風の服装をしていることが多く、飛んでいる姿は宗教画にみられる天使のようである。リオン大元帥暗殺によって起きた戦乱で地球に取り残され、記憶を失い倒れていたところを一矢に助けられ恋に落ち、ダイモビックへ引き取られる。バーム星人は翼を背中の内側に完全に収納できるため、記憶喪失中も他の地球人に正体を気づかれることがなかった。しかし自身が設計した装備を持つバーム星の戦闘ロボやリヒテルを見て記憶を取り戻し、愛してはいけない人として、自らダイモビックを去る。その後、海底魔城に戻るものの、一矢への想いは絶ちがたく、乳母マルガレーテや侍女シンディの協力で一矢とのコンタクトを図るがことごとく失敗する。兵士の手前もあり、リヒテルはエリカの処刑を決断。メルビの計らいで窮地を脱したが、運命に流されるだけではいけないと、地球とバームの架け橋となるべく解放区の発展に尽くすようになる。しかしカイヤの亡命事件で解放区の位置が露見してしまい、地球軍の攻撃で壊滅した後に息を吹き返したカイヤからオルバンが小バームに眠る10億のバーム星人を片端から洗脳しつつある現状を知らされ、一旦は絶望のふちに立たされるもののマルガレーテの叱咤に励まされて勇気を奮い起こし、リヒテルの追撃をかわして秘密基地へ仲間を避難させる。物資も機材も不足している中で宇宙船の建造を急いだものの事故で基地が壊滅した上、ゲロイヤー率いる追跡部隊に追い詰められて皆殺しの危機に晒されたため、自分一人だけでもオルバン暗殺を決行しようと思えてオルバンからのプロポーズを受け入れて小バームへ向かう。オルバンの罠にはめられてダイモビック側からも孤立した立場に追い詰められながら、結婚式の最中にオルバンを暗殺しようと、短剣を隠し持って式に臨むが失敗。リヨンの娘として命がけで筋を通そうとした姿勢を認めたリヒテルに救われることになる。最後にはリヒテルに、命がけで民を救い出そうとした一矢との仲を認めてもらう。それ以前のリヒテルは、黒幕がオルバンだと分かってても地球人に気を許さず、力を貸そうとはしなかった。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

<http://moto-material.lsv.jp/>

2023.04.27



# 闘将ダイモス1978年

【竜崎 勇 (りゅうざき いさむ)】声 - 飯塚昭三

ダイモビックの責任者の一人であり、月基地の司令官。科学者としては人類にとっては未知のエネルギー「ダイモライト」研究の第一人者であり、宇宙開発を夢見てダイモビックとダイモスを開発した。バーム星人からの和平交渉を受け、地球ヘリオン大元帥を招いたが、会見の席上でリオン大元帥が毒殺された際に、リヒテルの怒りに任せた発砲（実は混乱に乗じたゲロイヤーの狙撃）を受けて死亡。設定年齢49歳。

【和泉 振一郎 (いずみ しんいちろう)】声 - 勝田久

ダイモビックの責任者の一人であり、竜崎博士と協力してダイモスを作り上げた。一矢の空手の師匠でもある。竜崎博士亡き後、総司令官としてダイモビックを仕切るが、戦闘向きの性格ではなく、指揮の面では三輪長官（後述）に押し切られることもしばしばである。しかしダイモスを接收しようとする三輪長官をのりくらくらとかわす飄々とした一面もあり、物語中盤ではバーム星人への徹底報復に凝り固まる国際社会に対し、堂々と和平の道を訴えるなど剛毅な面も見せる。第29話で頭部に深刻な怪我を負い、バーム製の人工小脳で命をとりとめる。設定年齢65歳。

【和泉 ナナ (いずみ ナナ)】声 - 栗葉子、吉田小南美（スーパーロボット大戦シリーズ）

和泉博士の孫娘。京四郎と共にガルバーに搭乗し、戦闘に参加する。一矢を「お兄ちゃん」と呼ぶが、それ以上の激しい恋愛感情を抱いており、エリカに嫉妬したこともある。最終的には潔く自らの恋を諦めて2人を祝福した。怒ったときなどに「ワン!」と犬の鳴き真似をするのが特徴。設定年齢16歳。

【カイロ】声 - 井上瑤

ダイモビックのサポートロボット。特に目立った機能はなかったが、おかねさんのお見合いを設定するなどムードメーカー。第24話では無理やり入浴させられている様子をナナに写真に撮られ、仕返しにナナのヌードを激写するために作った「透視ファインダー」が戦闘ロボの弱点を探し当てのに使われ、勝利に貢献することになった。

【おかねさん】声 - 麻生美代子

怪力を誇るダイモビックの肝っ玉かあさん。皆からは「おかねさん」と呼ばれている。独身で、鬼頭隊長とお見合いをセッティングされたこともある。カイロと共に劇中でのギャグメーカー。後半には親族たちから独身であることに目をつけられ、甥の元太を押し付けられてしまう。

【三輪 防人 (みわ さきもり)】声 - 大木民夫（初期ナレーションも兼任）

国連地球防衛軍太平洋本部司令長官・兼日本防衛庁長官。竜崎、和泉両博士とは旧知の間柄らしい。第1話初登場時には責任感のある軍人として描かれていたが、防衛軍主力の全滅を機にダイモスの出動を要請したあたりから徐々に独善性を露呈していく。ダイモビック側との感情面の軋轢が激しくなると、一矢への呼び名も君づけから呼び捨てへと変化すると同時に、部下をダイモビック内部へ派遣して、和泉博士を初めとする和平派の動きを監視するようになっていった。地球を愛してやまないがバーム星人への憎悪のあまり、自分の意にそぐわない意見には耳を貸そうとせず、兵士や人質、民間人の犠牲も厭わない偏狭な人物。ダイモスの接收と強化を度々提案するも、和泉博士に断られる。ダイモス以外の地球軍を次々壊滅させるバーム軍への憎しみと恐怖から、バーム星人を全滅させることが地球の平和につながると頑なに思い込んでおり、無抵抗のバーム星人にすら銃を向けてその指導者を射殺するほど、ヒステリックなタカ派である。平和勢力の中心人物だったバランドークをバーム星人という理由だけで射殺したことで一矢達と完全に敵対してしまう。第38話においてはダイモス接收のため、大国に根回しして一矢を徹底的に追い詰めて一旦は解任することに成功するが、ニュージーランドなどの小国が再査問を求めたことにより逆に自分が追い込まれた末、長官を解任される羽目になる。第40話では長官を罷免されたにもかかわらず、独断かつ無謀な作戦で海底魔城を攻撃して多くの部下を犠牲にした上、戦闘後に遭難中の敵兵を次々と射殺していったことで、激昂した一矢に殴り倒された挙句、国連軍に越権行為の咎で逮捕されて以後は姿を消す。設定年齢45歳。一方面軍を預かる身でありながら、硬直した作戦ばかり実施して味方に多大な犠牲を強いるため、ゲロイヤーからは「戦いやすい相手」と蔑まれている。口癖は己の意に沿わぬ味方を罵る「この非国民め!!」である。実は三輪がその後、最終回で浮浪者として登場するが、誰からも名も存在も忘れられているというシーンが長浜によって描かれていた。

しかし、放送打ち切りによる短縮で実現できなかったという。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



【スタッフ】

企画 - 落合兼武 (テレビ朝日)、飯島敬、鈴木武幸  
原作 - 八手三郎 (連載誌 - 『テレビランド』、  
『てれびくん』および小学館学習雑誌)

企画協力 - 秋野紅葉  
キャラクターデザイン - 聖悠紀  
メカニックデザイン - スタジオぬえ、出淵裕  
アニメーションキャラクター - 金山明博

総監督 - 長浜忠夫  
製作担当 - 岩崎正美、中川欣徳  
作画 - 佐々門信芳、塩山紀生、村中博美、谷口守泰、  
山崎和男、高橋資祐 他

タイトル - 多々良正春 → 橋爪朋二

擬斗 - 高橋一俊  
製作協力 - 東北新社、日本サンライズ  
制作 - テレビ朝日、東映、東映エージェンシー

2023.04.28

# 1978年 闘将ダイモス

<http://moto-material.lsv.jp/>

【リヒテル】声 - 市川治（次回予告ナレーションも兼任）

有翼人種バーム星人の地球攻撃軍提督。和平交渉の席上で暗殺されたリオン大元帥の遺児。星を失い人工天体小バームで宇宙を彷徨っていた10億のバーム星人の生存をかけて地球と戦う。しかし、父リオン大元帥が地球との平和共存を望んでいたため、妹のエリカや乳母のマルガレーテには度々諫められていた。元々、意志強固で気性の激しいところがある上、母星の滅亡から辛くも落ち延び、宇宙を放浪する過酷な運命を乗り越えてきた種族を代表する立場にあるという自負心も手強い、その民族意識の誇りと名誉心は高い。その高度な科学力と文化を持ったバーム人側が、地球という（惑星統合も為しえないほどの）未開惑星の野蛮人にへりくだることを良しとしない風潮に同調しており、暗殺という卑劣な手段を取った（と思い込んでいた）竜崎勇を憎み、その息子・一矢をも仇の一味として目の敵にしている。当然の結果としてその一矢と恋仲になってしまった最愛の妹エリカに激しい怒りを抱き、死んだものとして絶縁する。しかし地球攻略がダイモスの抵抗で進まぬうち、信頼する高名な武人のハレックや、兵器開発の天才にして親友のアイザムまでが次々と地球人の力量を認めるように死んでいき、政治的に不安な立場に追い詰められていく中、自身もオルバン大元帥の陰謀を知ったことで提督を解任された上に抹殺されそうになる。オルバンこそが10億のバームの民の真の敵と悟ったリヒテルは、既に抜き差しならない敵対関係にある地球人との協力を拒み、ライザと共に小バームへ秘かに帰還。父の仇ゲロイヤーを討ち取った後、オルバンとエリカの結婚式を司る神官に変装して、オルバン暗殺に失敗したために敢えてオルバンを怒らせて死のうとしていたエリカを救い出し、遂にオルバンを倒して本懐を遂げる。オルバンの死によって落下を始めた小バームを救うべく死地へ飛び込んで傷ついた一矢を助け出してエリカを託し、銃弾を浴びつつも制御室へ飛び込んで小バームの落下を停止させた後、自らは多くの地球人を殺した罪を償うために木星へと落ちていく。設定年齢19歳。普段の一人称は「余」だが、アイザムと2人の時に一度だけ「俺」を使用した。

【リオン大元帥】声 - 大木民夫

太陽系到達時のバーム星人最高指導者にしてリヒテルとエリカの父親。優しくそうな外見の通り、無益な戦争行為を好まぬ穏健な平和主義者だった。バーム星の代表として地球政府との会談に赴くが、会食の席上で乾杯の杯に毒を盛られて暗殺される。リヒテルは地球人の卑劣な罠だと激昂して、その場で銃を乱射し竜崎博士を射殺する。実はリオン毒殺も竜崎博士射殺も、全てはオルバンの命を受けた腹心ゲロイヤーによるテロ工作だったことが終盤で明らかとなる。息絶える最後の瞬間まで平和を唱えて血気にはやるリヒテルを諫め続けており、その志は娘のエリカに引き継がれた。

【アイザム】声 - 井上真樹夫

バーム星最高の天才科学者であり、リヒテルの親友。超弾性金属を用いて戦闘ロボをさらに強化したメカ戦士を造り上げ、ダイモスの攻撃を封じる。自身の発明したアイザロン粒子の実験中に事故を起こし、大量の放射線を浴びてしまったことで死を待つ身だったが、残り少ない命を親友のために捧げようと、敢えてリヒテルの後任として、リヒテルの数々の失敗の尻拭いをしようとする。和平派がもたらしたアイザロン粒子によりダイモスがパワーアップしたことを知ると、反アイザロン粒子砲を作り上げ、自らメカ戦士「ギメリア」に乗り込みダイモスに挑むが、善戦空しく倒され「俺は自分自身（の発明したアイザロン粒子）に敗れたのだ」と言い残して戦死する。

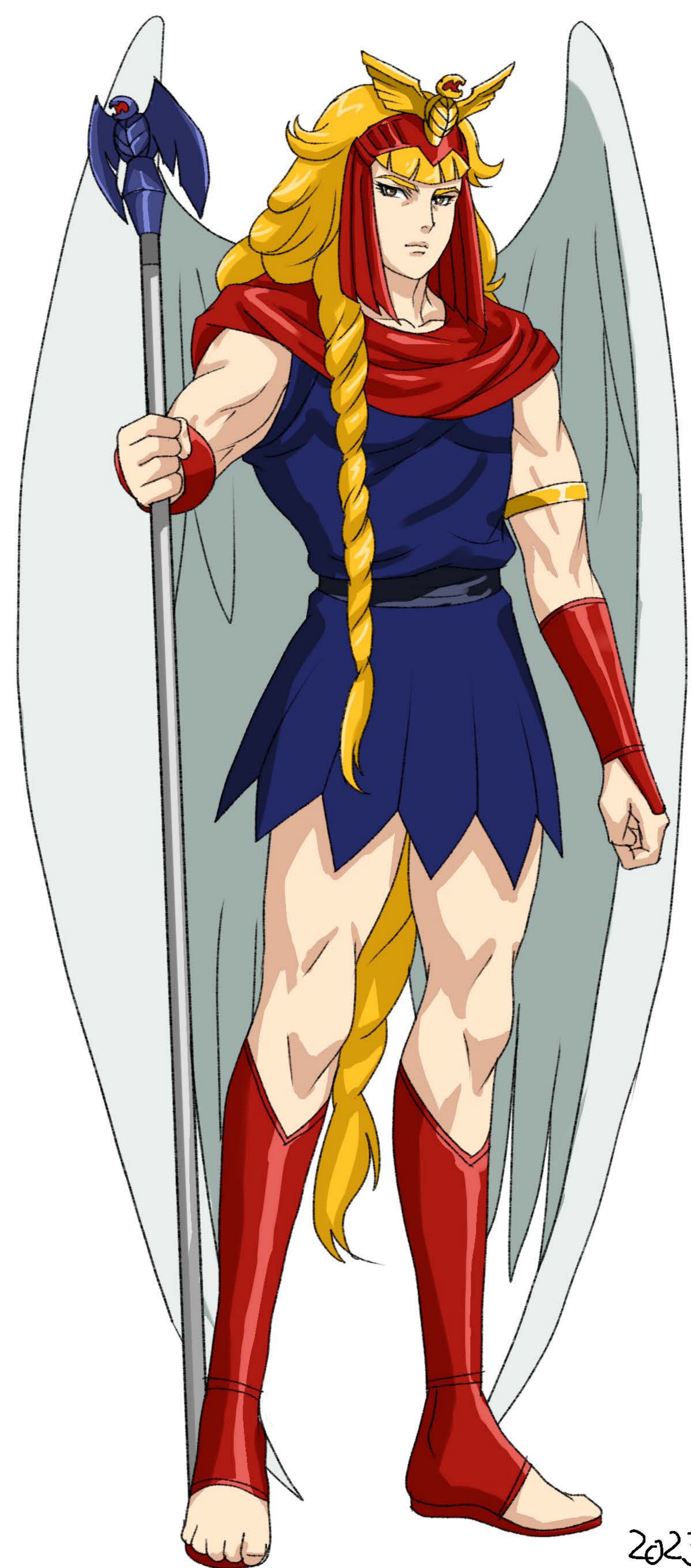
【オルバン大元帥】声 - 勝田久

この物語の全ての元凶であり黒幕。自分の筋書き通りに、暗殺されたリオンの後を継いで大元帥となったバーム星人。実はリオンの平和共存主義に反発しており、暗殺はバームの武力行使の言い訳としても平和路線の転換としても、恰好の機会だった。そのためゲロイヤーを使って暗殺事件を起こさせ、大元帥の地位を手に入れた。また事件の真相を知った場合、多くの武人たちを率いて刃向かう恐れのあるリヒテルを小バームから引き離すべく、地球攻撃の総司令官に任命して中央の情勢から遮断し、そのまま彼には地球人が父を暗殺したように思わせていた。その上で反対勢力を次々と粛清し、人工冬眠をしていた10億のバーム星人の脳に手術を施して従順な奴隷とする計略までも進め手ひどい圧制を行ったため、多くの離反者を出し、甥のメルビやバルバスの弟ヒムレーにまで反旗を翻されるようになる。事態の打開も兼ねて、リオンの遺児エリカを脅迫して妻に娶ろうとするが、大僧正に成りすましてその式場に潜入していたリヒテルに詰め寄せられ、また小バームに乗り込んだダイモスとダイモビックの戦闘部隊により、小バーム内の治安・軍事組織を壊滅させられて一挙に追い詰められる。体内に心臓と連動した小バームの自滅指令用制御装置を埋め込んでおり、自分の死と共にバーム星人10億人を道連れにしようとした。

【マルガレーテ】声 - 麻生美代子

リヒテル、エリカの乳母。エリカを“お姫様（おひいさま）”と呼び、リヒテルを“若”と呼ぶ。エリカを処罰しようとするリヒテルを度々諫める。リヒテルは2人の母代わりだったマルガレーテの意見を簡単には撥ねつけられなかった。エリカを救うためにシンディと共に尽力する。バーム星では死刑の次に重いとされる、翼を切られる刑を受け、強制労働に従事させられていたが、エリカとともに解放派に加わり行動を共にする。最後はオルバンに剣で斬られるが、最後の力を振り絞り、エリカの真意やオルバンの罠にはめられて一矢を殺しかけてしまった顛末を一矢に知らせて息絶える。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



2023.04.28

# 闘将ダイモス 1978年



【ライザ】声 - 弥永和子  
 リヒテルの補佐をする美女。戦闘ロボの開発を担当する。リヒテルを心から愛しており、彼の側にいるためならいかなる犠牲をも厭わず、その情念はいささかエキセントリック。エリカに対してはリヒテルを心配させる存在として疎ましく思っており、マルガレーテともども処刑しようとする。ゲロイヤーに海底魔城が占拠されたときには真っ先に寝返りを表明するが、それはリヒテルを救うための芝居であり、個人の秘密基地まで用意してリヒテルを救ってみせる。オルバンに逆らった謀反人となって傘下の兵力を失ったライザはダイモビックに応援を要請するほどだったが、リヒテルはそれは復讐の念に燃える地球軍を小バームに引き入れかねない危険な策として拒絶し、孤立無援の身でも小バームに乗り込む決断をする。ライザはそれに付き添い、ゲロイヤーを討ち取りオルバンを撃ったものの、死んだのは影武者だったため激昂したオルバンに追い詰められ、逆に決死の攻撃をかけようとしたリヒテルに代わり単独でオルバンに向かっていったものの、待ち伏せの銃撃を受け、その目前で力尽きるように死亡する。リヒテルは、彼女の自分への想いが忠誠以上のものであったことに気付いていたらしく、秘密警察に連行されながらもその遺体に愛惜を込めた言葉を送った。  
 出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

話数	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督
第1話	宿命の出あいは戦火の中	田口章一	安彦良和	横山裕一郎	金山明博 佐々門信芳
第2話	謎の美少女エリカ	辻真先	磯浜太郎	菊池一仁	金山明博 塩山紀生
第3話	白いつばさの記憶	五武冬史	安彦良和	佐々木勝利	金山明博
第4話	悪夢! 私の兄は地球の敵	桜井正明	寺田和男	寺田和男	佐々門信芳
第5話	悲しい罪は涙で消えない	田口章一	高橋資祐	横山裕一郎	金山明博
第6話	涙をふいて立ち上れ	高浜千鶴	寺田和男	寺田和男	林信夫 金山明博
第7話	ナナは優しい地球の戦士	五武冬史	阿佐みなみ	菊池一仁	塩山紀生
第8話	地球を守れ! 戦え一矢!	桜井正明	高橋資祐	佐々木勝利	坂本三郎
第9話	母星の誇りを賭けた勇士	高浜千鶴	寺田和男	寺田和男	金山明博
第10話	正義の空手を見せてやれ!	田口章一	磯浜太郎	横山裕一郎	佐々門信芳
第11話	愛と裏切りのバラード	高浜千鶴	高橋資祐	菊池一仁	林信夫 金山明博
第12話	まやかしの平和は要らない	辻真先	柳弘通	佐々木勝利	金山明博
第13話	とび出せエリカ命をかけて	辻真先	寺田和男	加瀬充子	塩山紀生
第14話	エリカとダイモス涙の戦い	辻真先	阿佐みなみ	佐々木勝利	坂本三郎
第15話	輝く真実は戦う勇気の中に	田口章一	菊池一仁	菊池一仁	佐々門信芳
第16話	極楽島は非情の島	田口章一	磯浜太郎	横山裕一郎	金山明博
第17話	エリカ! 死刑台に登る!!	田口章一	高橋資祐	高浪葉一	高橋資祐 金山明博
第18話	エリカが三輪に殺される	田口章一	佐々木勝利	佐々木勝利	塩山紀生
第19話	宇宙からの使者	五武冬史	菊池一仁	菊池一仁	坂本三郎
第20話	秘かなる平和への戦い	五武冬史	安彦良和	高浪葉一	佐々門信芳
第21話	誇り高き別離	田口章一	佐々木勝利	佐々木勝利	佐々門信芳
第22話	京四郎決死の激突!	高浜千鶴	小泉謙三	横山裕一郎	加瀬充子 塩山紀生
第23話	おかねを狙うキューピット	桜井正明	菊池一仁	菊池一仁	金山明博
第24話	ド根性カイロの秘密兵器	辻真先	高橋資祐	高浪葉一	高橋資祐
第25話	誇り高き若獅子リヒテル	高浜千鶴	安彦良和	佐々木勝利	金山明博
第26話	ダイモス! 危機一髪!!	田口章一	菊池一仁	菊池一仁	坂本三郎
第27話	ダイモスパワーアップ作戦	五武冬史	小泉謙三	高浪葉一	塩山紀生
第28話	天才科学者アイザムの挑戦	高浜千鶴	佐々木勝利	佐々木勝利	佐々門信芳
第29話	ダイモビック爆発一秒前!	田口章一	菊池一仁	菊池一仁	金山明博
第30話	危うし!! 和泉博士の命	田口章一	生頼昭憲	広川和之	坂本三郎
第31話	悲しきバランドークの最期	五武冬史	安彦良和	佐々木勝利	金山明博
第32話	新たなる平和への旅立	高浜千鶴	高橋資祐	高浪葉一	高橋資祐
第33話	ダイモビックの豆台風!!	五武冬史	佐々木勝利	佐々木勝利	佐々門信芳
第34話	殺し屋ゲロイヤーの襲撃!	田口章一	菊池一仁	菊池一仁	塩山紀生
第35話	猛将バルバス翼たむるとき	高浜千鶴	広川和之	広川和之	金山明博
第36話	ありヒテル! 絶体絶命!	田口章一	佐々木勝利	佐々木勝利	坂本三郎
第37話	花嫁になるエリカ	五武冬史	生頼昭憲	高浪葉一	佐々門信芳
第38話	渡すものか! 俺のダイモス	高浜千鶴	菊池一仁	菊池一仁	金山明博
第39話	畏にはまった一矢	五武冬史	佐々木勝利	佐々木勝利	塩山紀生
第40話	海底城! 大攻撃開始!!	田口章一	高橋資祐	広川和之	高橋資祐
第41話	一矢を襲うエリカの弾丸!	高浜千鶴	菊池一仁	菊池一仁	佐々門信芳
第42話	敵バームへ出撃開始!!	田口章一	安彦良和	高浪葉一	金山明博
第43話	小バームの大攻防戦	五武冬史	佐々木勝利	佐々木勝利	坂本三郎
第44話	明日への奮進	高橋資祐	広川和之	高橋資祐	金山明博